

NACSIS-CAT/ILLの理念および現状

平成21年度 NACSIS-CAT/ILLワークショップ
平成21年12月2日

国立情報学研究所 学術基盤推進部
学術コンテンツ課 図書館連携チーム CAT担当
平田義郎

- NACSIS-CAT/ILLの理念
- NIIアクションプラン(書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト)
- 次世代目録(次世代目録所在情報サービスの在り方について)

- 学術審議会「今後における学術情報システムの在り方について」（1980.1）
 - 総合的な学術情報システムを形成するには、**図書**、**学術雑誌等の目録情報のデータベース**と**所在情報のデータベース**の検索利用を包含することが重要である。
 - 全国の大学図書館がそれぞれ端末機器を通じて資料整理を行うこととなり、**整理業務**の著しい**能率化**をもたらすばかりでなく、**同時に**、自動的に**全国的な所在情報**が形成されることとなる。これによって、一次情報がどこに所在するかが記録され、**図書館間の相互利用**を格段に進めることができる。
 - 文献情報、数値情報、図形情報等の各種のデータベースを集中的に整備し、検索利用できる方策を確立する必要がある、とりわけ、**目録情報**、**所在情報のシステム化**については、全国の大学図書館においてもその**業務の改善**、**合理化**のために早期実現が期待されている。

学術情報の円滑な流通
学術情報資源の共有

共同構築

理念

相互協力

□ NIIアクションプラン

- 書誌ユーティリティ課題検討プロジェクトで示された問題点の解決

□ 次世代目録

- 中長期的な視点での目録所在情報サービスの検討

□ 発足と活動

- 「国公立大学図書館協力委員会常任幹事館と国立情報学研究所(NII)との業務連絡会」のプロジェクト
- H16.9-H17.10

□ 何故？

- 基本理念「共同構築」「学術情報資源の共有」の衰退
- 利用者サービス低下、図書館への信頼の低下が懸念

□ 背景

- 人員削減、業務統合
- 「共同構築」「資源共有」理念の認識がない参加館の増加

□ 6つの対策（応急策）

- NACSIS-CAT/ILL運用ガイドライン
- 外注のための仕様書モデルの提示
- 研修の強化と資格・認定制度の提案
- 図書書誌レコード調整方式の改善
- 雑誌所蔵更新への強制力
- 図書館評価のための基礎的数値の開示

□ 報告書・経緯

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/kadaipt.html>

□ 目的

- NACSIS-CAT/ILLの趣旨の周知徹底

□ 対応

- 2007年のNACSIS-CAT/ILLワークショップで議論
- 運用ガイドラインの素案を検討中

外注のための仕様書モデルの提示

□ 目的

- 「外注のための仕様書モデル」を提示し、外注に際してCATのデータの品質を維持する。

□ 対応

- 「目録外注仕様書モデル」の公開(2008.3)

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/gaichu.html>

- 目録外注仕様書モデルの活用
- その活用結果のフィードバック

研修の強化と資格・認定制度の提案

□ 目的

- 目録システム関連の講習会・研修の見直しと強化の必要性および具体的方策を検討する。

□ 対応

- 「目録所在情報サービスを対象とする講習会等に関する検討WG」を設置
- 「最終報告書」を公開(2007.3)
<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/cat-tr-wg/index.html>

□ 現状の取り組み

- セルフラーニング教材の充実
- 講習内容の改善
- 講習会講師の育成
- 目録業務のリーダー育成
- スキル向上のための環境づくり

□ 目的

- 図書レコードの調整方式を見直し、新しいレコード調整方式 → レコード調整にかかる負担の減少

□ 対応

- 「NACSIS-CATレコード調整WG」を設置

http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/recordwg_report.html

- 応急策の提示

- レコード調整連絡の改善
- コーディングマニュアルの見直し
- 運用注記の定型化

□ 目的

- 所蔵更新キャンペーンの実施

□ 対応

- 「NACSIS-CAT全国雑誌所蔵データ更新作業」
(2006)
- 「継続所蔵・未更新所蔵リスト」の送付による雑誌
所蔵更新の促進(年1回)

□ 目的

■ 図書館評価のための基礎的数値の開示

- 実体の把握
- 自己点検・自己評価

□ 対応

■ 「NACSIS-CAT/ILL業務分析表」の送付(年1回)

□ 次世代目録所在情報サービスの在り方

- 中長期的視点から今後の在り方(方向性)を検討
- 図書館連携作業部会 次世代目録WG
 - 『次世代目録所在情報サービスの在り方について(中間報告)』(平成20年3月)
 - 『次世代目録所在情報サービスの在り方について(最終報告)』(平成21年3月)

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/project/catwg.html>



- NACSIS-CATに電子情報資源の入力が進まない

- 新しい資源発見システム → 電子情報資源データバンク
 - 出版社、アグリゲータ、書誌作成機関から提供される書誌データを活用
 - 各参加館のアクセスデータ(ERMSなどから)を格納
 - NACSIS-CATと同時に検索可能

- NACSIS-CAT特有のデータ構造＝データ交換等に不向き
- 目録規則、メタデータスキーマなどの動向
 - FRBR、国際目録原則、ISBD改訂、RDA、NCR、MARCXML、MODS ...
- 当面は変更なし。MARC21などでのデータ出力機能を検討
- 現在の進捗
 - Z39.50によるMARC21形式での提供(2002～)
 - MARC21形式の個別版の提供開始(2008～)
 - VIAFへの著者名典拠提供(予定)

- 現在のインターフェイス:
CATP, Webcat, Webcat Plus, Z39.50

- Webの最新技術を用いたAPI公開要求の高まり

- 提供範囲、提供内容、アクセス制限などを考慮しながら、実験的に開発
 - 検索要求 → XMLで書誌・所蔵レコードを返答

□ MARCからの直接入力

- 人の手を掛ける必要のないレコードはできるだけ手を掛けない。

□ 主題データの充実

- 外部データを活用して, NACSIS-CATのデータを豊富にする。

□ 参加館の多様化

- 書誌レコードの品質のばらつき
- 取り組みの差

□ 従来の共同分担方式 → 現状に合わせた共同分担方式の模索

- 目録センター館
- インセンティブモデル
- 参加機関のレベル分け

□ お問い合わせ先

学術基盤推進部学術コンテンツ課

図書館連携チーム

CAT担当 : catadm@nii.ac.jp

ILL担当 : illadm@nii.ac.jp